

平成29年 3月10日

川崎市議会議長 石田康博様

宮前区

リニア新幹線を考える宮前の会
ほか 1団体

J R 東海のリニア中央新幹線梶ヶ谷非常口「ケーソン工法」採用に伴う災害時の「川崎市災害用井戸協力の家」の井戸水の確保の為の工事協定書締結を求める陳情

陳情の要旨

J R 東海による J R 東海中央新幹線梶ヶ谷非常口及び資材搬入新設工事の工事説明会が平成29年3月4日梶ヶ谷小学校で開催され、ニューマチックケーソン工法で工事することが明らかになりました。

この工法は圧縮空気を用いる工法で実施するため、法等に基づき、半径1kmの範囲内にある井戸等について調査を行い、工事に伴う空気の漏出がないかを確認しながら工事を実施しますとの説明でした。

この半径1kmの範囲内には宮前区や高津区の川崎市災害用井戸協力の家の井戸が沢山あります。この井戸は「災害時における飲料水及び生活用水の供給源としての井戸及び受水槽の有効活用に関する要綱」に基づき、災害時に地域の皆様へ安全で衛生的な飲料水及び生活用水の供給に協力していただける井戸となっています。

この工事で災害時に大事なこの井戸の水が枯渇することなどが懸念されます。

この工法での「中央新幹線梶ヶ谷非常口新設工事における環境保全について」が J R 東海から市に提出された際、その評価に合わせ、災害時の井戸の水の従来どおりの確保対策も協議し、市、井戸協力の家、J R 東海、西松建設と、枯

渴時、J R 東海からどうやって供給するかなどの協定書を作成し、4 者で工事協定書として締結することを求める陳情をいたしますのでよろしくお願いいたします。

陳 情 の 理 由

災害時、川崎市災害用井戸協力の家の井戸水の役割は大変重要なものです。自然災害ではなくこの工事で井戸水の枯渇が懸念されます。西松建設の説明ではこの工法で実際に問題が起きた例はないか、あっても1件くらいだとの説明だったと思います。ほとんど問題がないのであれば、保険として、工事協定書を締結してもいいのではないかと。

平成29年7月から先行掘削工事を開始し、平成29年9月から、この工法で工事を実施しようとしています。至急対応をお願いいたします。